

平成29年度 蓬田小学校 学校経営の方針

1 経営理念

互いに尊重し合い、これからの社会を主体的に生きる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供の育成を目指す。そのために、情熱と愛情、謙虚さを持ち保護者や地域とともに、相互信頼と協働により全教職員が一丸となって創意工夫を凝らした学校づくりに努める。

「かけがえのない蓬田小の子供たちのために」このフレーズに学校経営の全てを意味付ける。

2 教育目標（蓬田小が目指す子供像）



夢に向かって挑戦し、共に生きる子を目指して

やさしい子
学び合う子
たくましい子

3 努力目標（今年度の目指す子供像）

- (1) 思いやりの心をもって 行動する子
- (2) よく考え みんなで学ぶ子
- (3) 健康や安全について考え 体づくりにはげむ子

4 目指す学校像

- (1) 夢に向かって子供が生き生きと活動し、明るく助け合う学校
- (2) 保護者や地域とともに全力で子供を守り、支え合う学校

5 経営の柱

互いに尊重し合い、主体的に生きる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供の育成を目指す、

- (1) 一人一人の子供を尊重し、学び・心・体の基礎基本づくりを大事にした学校づくりをする。
- (2) 全教職員の相互信頼と協働のもとに、創意工夫を凝らし活力のある教育活動を推進する。

6 経営の重点（目指す子供像の具現化のために）

- (1) 豊かな心と心の基礎基本づくり
 - ・心の結びつきを基盤とした学級経営、生徒指導の充実に努め、子供に成就感や自己存在感をもたせるとともに、子供相互の好ましい人間関係はもとより、教師と子供・保護者との信頼関係を構築する。
 - ・道徳教育やキャリア教育の視点に立った教育活動を推進し、物事を自分事ととしてとらえ、主体的に考え判断し行動できる力を育む。
- (2) 確かな学力と学びの基礎基本づくり
 - ・教育のプロとして教師自らが学び、互いに磨き合いながら、「わかる、できる、楽しい」授業づくりに努め、学ぶ意欲と確かな学力を身に付けさせる。
 - ・発達段階を考慮しつつ、子供によさを実感させながら望ましい学習習慣や学習規律を身に付けさせるとともに、共に学び合う態度を身に付けさせる。
- (3) 健やかな体と体の基礎基本づくり
 - ・指導の場の工夫や教科体育の充実に努め、運動の楽しさを味わわせながら体力の向上を図る。
 - ・健康で安全な生活を送るための知識や習慣、判断力や実践的な態度を身に付けさせる。
- (4) 環境づくり
 - ・物的環境、人的環境を常に子供の目線で見直しながら、子供が見える環境づくりに努める。
 - ・家庭や地域と連携しながら、日常の挨拶や言葉遣いなど望ましい言語環境づくりに努める。
- (5) 内外に開かれた学校づくり
 - ・学級を開き、全校児童の担任であるという意識をもって問題を共有し、教職員相互の信頼と協働により、組織的・機動的な対応に努める。
 - ・積極的に情報を発信をし、目指す子供像の共有を図りながら、家庭や地域とともに子供のよりよい成長を目指す。